

その他の卸売業におけるその他の仮設物、建築物、構築物等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	床にある配線コードをまとめる4cm×8cm位の金属に左足を乗り上げてしまい、外側にひねり、左足くるぶしを剥離骨折した。	52	1～9
1	15～16	当社従業員が営業車を駐車場へ停めて本社事務所がある建屋へ向かう為市道を走って向かっていた際、道路上が凍っていた為滑り転倒し右足を骨折した。	36～49	30～
2	8～9	出勤時車を停めて第3駐車場を歩いている時、駐車場の出入口の路面が凍っていたためそこで転倒し右手首を骨折した。	56～99	500～
3	10～11	駅前第2駐車場内において、自家用車よりPOPを持ち店に向かおうとした際に車止めに躓き転倒し、右手小指側面と右肋骨部を強打し、顎を擦り?いた。	65～99	10～29
3	0～1	冷蔵センターにて商品を納めてシャッターを閉める時、巻き込み式シャッターを閉める時にシャッターの隙間に指を入れたまま閉めてしまった。	64	1～9
4	13～14	近所のラーメン屋の方が違法駐車と勘違いして当社の車に車止めをかけてしまい、会社の車なので勘違いだと言いに行く途中、会社の駐車場で約50cmの段差を乗り越える際に足を滑らせ転倒し、右肩を打ちつけ骨折した。	48	10～29
4	16～	加工食品倉庫内、商品補充作業中に、通常はフォークリフトで下ろすラック3段目（床面高さ約220cm）にある商品をラック2段目（同約100cm）にのぼり両足で立ち、左手で荷物が載っているパレットを掴み、右手でバンドで縛られた商品（約	24	50～

	17	10kg) を引き抜き、その体勢のままラック2段目に商品を置いたあとバランスを崩し、臀部から床に落下し両手をついてしまい、右手首骨折および左手首骨にヒビを負った。		99
5	10～ 11	酒類の配達のため車で移動後、コンクリートの庭で回収作業をしていたところ、雨で足を滑らせて腰骨を剥離骨折した。	25	10 ～ 29
6	16～ 17	当社事業所（2階建）の屋上にあるTVアンテナの補強（安定）のため、アンテナの脚下に木片（100×200×300）を入れようと、下から屋上に投げ上げたが届かず、手前のコンテナ倉庫（高さ2m）の上に落ちた。それを取りにコンテナの上に上がり、木片を屋上に投げ上げた後、そこから手をついて降りようとした時、ズボンがコンテナの角に引っ掛かり、バランスを崩し落下したため、右足かかとを骨折した。	61	1～ 9
7	13～ 14	回収先でダンボール回収時に、鉄門を開け閉めしたとき、鉄門に右手人差し指を挟み負傷した。	42	30 ～ 49
7	14～ 15	2階建ての工場で、2階から1階へ荷物を滑り降ろすための金属製の滑り台（全長約10cm、滑面幅約90cm、側面高さ約60cm）にて被災した。被災者は、商品伝票を2階から1階へ持って行こうと、通常なら階段で降りなければいけないにもかかわらず、急いでいたため、当該滑り台で1階へ滑り降りたところ、滑り台側面の手すりを覆っている金属がめくれていた部分に右手小指が接触し、右手小指を負傷した。なお、当該滑り台は、人の使用を禁止しているものである。	43	10 ～ 29
9	16～ 17	被災者は顧客の戸建住宅に於いて、転居の為ガスの閉栓作業をしていた。その住宅の門扉が閉まっており門扉をまたいで出入りする必要があった為、その門から飛び降りた際にバランスを誤り両かかとに強い衝撃が当たり、当該部位等を負傷したものである。（※その顧客は被災者が来訪時は既に転居済みであったが、予め許可を取っていたので敷地内の進入が可能であった。）	46	100 ～ 299
		野菜工場栽培室において、レタスの水耕栽培に使用している高さ4.0mの6段栽培棚にて6段目の清掃作業を行っていた。通常は高所作業車を使用するが、移動に手間		

11	17～ 18	がかり作業効率が落ちることから、当該作業棚と隣の棚の4段目に足を掛けて作業をしていた。（高さ2.0m）作業中右足が滑り、床に墜落し、右肩と後頭部を強く打した。後頭部及び右肩の打撲、頸椎捻挫の診断された。1週間程度の加療が必要となった。	60	100 ～ 299
12	8～9	倉庫内で配送品のパン粉（10kg入、1本）を取るため、3段の棚の3段目（地上から約4.5m）に上がりパン粉を持ったところ、バランスを崩し、パン粉を持ったまま足から落下し、足を負傷した。本来ならば、リフトを使わなければいけない状況であった。	53	
12	9～10	砕石機械のメンテナンス業務中、機械のベルトコンベアのフレーム（幅100cm、長さ600cm）を置き場に片付けていたところ、フレームを2段重ねにするため、2段目のフレームに上がっていた際、足元のバランスを崩し、2段目（地面までの高さは1.2m）から後ろ向きに飛び降りた際に着地がうまくいかず、右足に負荷がかかり、右足を骨折した。	48	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html